

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅲ-1-2 発達段階に応じた教育の振興
---------	-----------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	教育指導課子ども安全支援室長 吉崎 朗	電話番号	0852-22-5444
----------	---------------------	------	--------------

事務事業の名称	生徒指導体制充実強化事業		
目的	(1) 対象	児童生徒	
	(2) 意図	生徒指導上の諸問題への横断的な取組により、問題の発生を防止する。	
事業概要	学校での生徒指導について主体的に取組む生徒指導主任・主事への各種研修を実施することで、当該指導主事のスキルアップを図り、併せて異校種間の連携を進める。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	問題行動発生件数（いじめ件数を除く）	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			式・定義	当該年度の問題行動発生件数	目標値	1,193	947.00	1,013	
			達成率	94.80	73.40	74.60		%	
指標名	式・定義	問題行動発生件数（いじめ件数を除く）	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値						
			実績値						
			達成率					%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	41,646	37,908
うち一般財源(千円)	39,961	35,883

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

子どもと親の相談員を県内25小学校に配置した。
 生徒指導主事代替非常勤講師の配置人数 平成24年度:30人 平成25年度:29人 平成26年度:29人

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・問題行動発生件数が減少した。
 平成25年度:1,013件 → 平成26年度:878件

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
- ・問題行動の発生件数（いじめを除く）は、中学校で減少したが、小学校で増加している。特に「火遊び、放火等類似行為」「盗み（万引き）」の増加が大きい。
- ②困っている状況が発生している「原因」
- ・児童生徒の規範意識の低下
 - ・問題行動等の生徒指導上の課題に対し、対処的な対応が中心となっている。
- ③原因を解消するための「課題」
- ・問題行動等の生徒指導上の課題に対し、未然防止につながる予防的、開発的な生徒指導の重要性を学校に周知する。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・生徒指導主任・主事等研修などを通して、魅力ある学校づくりを中心とした積極的生徒指導の推進を図る。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）